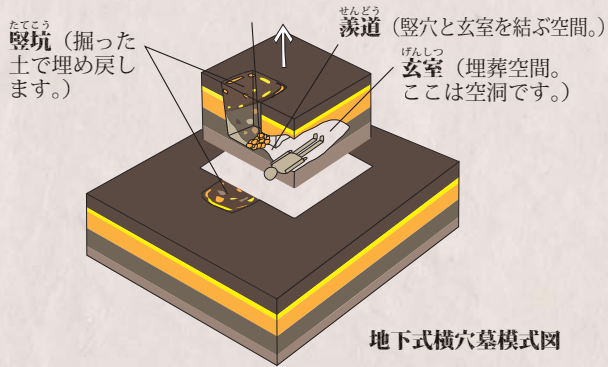


羨門（玄室への入口。玄室に竪穴の土が入らないように土の塊や木・石などでふたをします。）



31 鷺塚の地下式横穴墓

ちかしきよこあなぼ

昭和45年（1970年）に発掘調査された地下式横穴墓（古墳時代の南九州独特の墓）である。

出土した人骨は女性の骨といわれる。（現在、大崎町郷土資料展示室に展示されている。）

副葬された刀子も発見されているが、詳細は不明。



30 鷺塚の観音様

建立の時期は不明。

石像は、台座を含めると160センチの高さである。

柏原と志布志の観音様の兄弟であると伝えられる。

昔は広い参道もあり、参詣者も多かったといわれる。



32 鷺塚の古石塔・六面地蔵

古石塔の詳細は不明。宝塔の残欠とみられる。六面地蔵は、風化が進んでいて詳細が確認できないが、六面それぞれに六道（地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道）の人びとを救う六地蔵が彫られていたものである。

小野家の氏神であったが、現在は鷺塚家・鷺塚集落が管理している。



33 柳別府の庚申供養塔

こうしんくようとう

60日に1度の『庚申』の日に徹夜して眠らずに身を慎めば長生きできるという信仰があり、その信仰のもと建てられた石塔である。

この庚申供養塔では、庚申信仰の本尊とされる青面金剛とるっび六臂（六本の腕）に持った太陽・弓・矢や足で踏みつけた

邪鬼が確認できる。また、三猿（見ざる・聞かざる・言わざる）も配されている。

元文3年（1738年）の銘があり、昭和51年（1976年）に町指定文化財となった。